

	福島県		県中地域				須賀川・岩瀬地区				石川地区				田村地区			
	43週	42週	第43週		第42週		第43週		第42週		第43週		第42週		第43週		第42週	
	感染症動向	感染症動向	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報
インフルエンザ	63	70	12	19	23	41	10	16	23	41	0	2	0	0	2	1	0	0
咽頭結膜熱	20	18	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	104	122	28	0	19	0	5	0	3	0	0	0	0	0	23	0	16	0
感染性胃腸炎	79	48	21	3	12	0	21	2	12	0	0	1	0	0	0	0	0	0
水痘	22	8	3	10	1	10	3	3	1	7	0	0	0	0	0	7	0	3
手足口病	28	49	3	1	11	5	3	0	11	0	0	1	0	5	0	0	0	0
伝染性紅斑	49	33	8	0	5	0	2	0	3	0	0	0	0	0	6	0	2	0
突発性発疹	24	26	3	0	2	2	3	0	0	0	0	0	1	0	0	2	1	0
ヘルパンギーナ	7	22	0	1	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0
流行性耳下腺炎	5	2	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	59	80	2	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	12	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

県中地域の状況

流行中 現在、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎・伝染性紅斑流行が見られている疾患はありません。

小流行中 現在、インフルエンザの小流行が続いています。

インフルエンザの流行に備えましょう

季節性インフルエンザは流行性があり、いったん流行が始まると、短期間に多くの人へ感染が広がります。日本では、例年12月～3月が流行シーズンとされています。早めの対策を心掛けましょう。



① 流行前のワクチン接種

インフルエンザワクチンは、感染後に発症する可能性を低減させる効果と、発症した場合の重症化防止に有効と報告されています。

② 飛沫感染対策としての咳エチケット

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生される小さな水滴（飛沫）による飛沫感染です。咳やくしゃみを他の人に向けて発しない、また、咳やくしゃみなどが出るときはできるだけマスクをするなど、普段から咳エチケットを心がけてください。

③ 外出後の手洗い等

流水・石鹸による手洗いは、手指など体についたインフルエンザウイルスを物理的に除去するために有効な方法であり、インフルエンザに限らず接触や飛沫感染などを感染経路とする感染症の対策の基本です。また、インフルエンザウイルスはアルコールによる消毒も有効であるため、アルコール製剤による手指衛生も効果があります。



④ 適度な湿度の保持

乾燥しやすい室内では、加湿器などを使って適切な湿度（50～60%）を保つことが有効です。

この情報に関するお問い合わせ先：県中保健福祉事務所 医療薬事課 感染症予防チーム
TEL: 0248-75-7818 E-mail: kenchu_kansensyoyobou@pref.fukushima.lg.jp